

科目名	母性看護学演習ⅣB Maternity Nursing Seminar ⅣB		担当教員 (研究室番号)	大平 肇子 (104) 朝倉 徹夫 (非常勤) 佐々木直哉 (非常勤) 森貴かおり (非常勤)		教員への連絡方法 (メールアドレス)						
履修年次	1年次後期	科目区分	専門科目		選択区分	コース必修	単位数 (時間)	2 (30)	授業形態	演習	科目等履修生	否
科目目的	周産期医療提供体制、周産期母子医療センター機能の理解に基づき、MFICUやNICU・GCUにおける看護管理者の活動の実際をとおり、エビデンスの臨床への適用、業務管理、医療ケアチームの調整について学び、周産期母子援助とそのシステム、さらに母子・家族への継続支援と地域における子育て世代包括支援システムを充実発展させるうえで、リーダーシップを発揮できる能力を養う。											
ディプロマ・ポリシー (DP)	主要なDP	7. 看護学の特定分野における卓越した看護実践能力を修得している。										
到達目標	関連するDP	2. 豊かな人間性と倫理観を身につけ、看護専門職としてリーダー的役割が担える指導力やマネジメント力を身につけている。										
到達目標	1. 周産期におけるチーム医療の課題と看護管理者の果たすべき役割について考察することができる。 2. 周産期母子援助とそのシステムの充実発展に資するリーダーシップとコーディネーター的役割について考察することができる。											
成績評価方法 (基準)	レポート (50点)、プレゼンテーション (40点)、ディスカッションへの参加状況 (10点)											
教科書	必要時、紹介します。											
参考書等	必要時、紹介します。											
受講者へのメッセージ	個々のプレゼンテーションとディスカッション、臨地での実践を通して学んでいくため、事前学習をしっかりと行うことが必要です。主体的・積極的な取り組みにより、自らの研究課題の探究へと発展することを期待します。											
備考												
回	学習項目	学習内容	担当教員	授業方法								
1回	オリエンテーション 学習内容・方法、到達目標の理解	科目目的、到達目標、学習内容・方法を理解する。 ・今後のスケジュール、学習方法について ・課題学習について	大平	対面 (講義)								
2回	周産期医療体制・周産期母子医療センター機能の理解	三重県の周産期医療体制、周産期母子医療センターの機能と役割について現状を分析し課題を見出す。	大平	対面 (演習)								
3回	周産期におけるチーム医療の課題の明確化と看護管理者の役割の理解①	周産期医療体制や周産期母子医療センター機能の理解に基づき、臨地での演習に向け、MFICUおよびNICU・GCUでのチーム医療の課題と看護管理者の果たすべき役割について検討する。	大平	対面 (演習)								
4回	周産期におけるチーム医療の課題の明確化と看護管理者の役割の理解②	周産期母子援助とそのシステム、母子・家族の継続支援と地域における子育て世代包括支援システムを充実発展させるうえで、看護職の社会参画の方略を学び、看護管理者のリーダーシップについて理解する。	大平	対面 (演習)								
5回	リーダーシップとコーディネーター的役割の理解①	【臨地での演習①】MFICU看護管理者の活動場面への参加観察を通じて、看護・助産業務管理の実際を学び、看護管理者からのフィードバックと意見交換により、リーダーシップがどのように発揮されているか検討する。 ・MFICU看護管理者のラウンド、助産業務管理 ・事例検討、カンファレンス、退院支援などへの参加	大平	対面 (演習)								
6回	リーダーシップとコーディネーター的役割の理解②	【臨地での演習②】MFICU看護管理者の活動場面への参加観察を通じて、多職種・医療ケアチーム間の調整の実際を学び、看護管理者からのフィードバックと意見交換により、リーダーシップがどのように発揮されているか検討する。 ・医師 (産婦人科医) のクリニカルラウンド、症例検討 ・多職種カンファレンスなどへの参加	大平	対面 (演習)								
7回	リーダーシップとコーディネーター的役割の理解③	【臨地での演習③】NICU・GCU看護管理者の活動場面への参加観察を通じて、看護管理の実際を学び、看護管理者からのフィードバックと意見交換により、リーダーシップがどのように発揮されているか検討する。 ・NICU・GCU看護管理者のラウンド、看護管理 ・事例検討、カンファレンス、退院支援などへの参加	大平	対面 (演習)								
8回	リーダーシップとコーディネーター的役割の理解④	【臨地での演習④】NICU・GCU看護管理者の活動場面への参加観察を通じて、多職種・ケアチーム間の調整の実際を学び、看護管理者からのフィードバックと意見交換により、リーダーシップがどのように発揮されているか検討する。 ・医師 (新生児科医) のクリニカルラウンド、症例検討 ・多職種カンファレンスなどへの参加	大平	対面 (演習)								
9回	ガイドラインを活用した周産期における母子とその家族のプライマリーケアの理解	ガイドラインを活用した体験事例の分析をとおり、周産期における母子とその家族へのプライマリーケアの実際を学び、周産期母子援助を的確に行う方略を理解する。 ・ガイドラインの推奨例に沿った周産期のプライマリーケアに関する体験事例の分析	大平	対面 (演習)								
10回	ガイドラインを活用した周産期における母子とその家族の危機状況に応じた看護方法の理解①	医師 (産婦人科医) によるMFICUでの複雑事例の紹介とガイドラインを活用した分析 (ディスカッション) をとおして、周産期における母子とその家族の緊急事態への対応の実際を学び、危機状況に応じた的確な看護方法を理解する。	朝倉	対面 (演習)								
11回	ガイドラインを活用した周産期における母子とその家族の危機状況に応じた看護方法の理解②	医師 (新生児科医) によるNICU・GCUでの複雑事例の紹介とガイドラインを活用した分析 (ディスカッション) をとおして、周産期における母子とその家族の緊急事態への対応の実際を学び、危機状況に応じた的確な看護方法を理解する。	佐々木	対面 (演習)								

回	学習項目	学習内容	主担当 教 員	授業 方法
12回	ガイドラインを活用した周産期における母子とその家族の危機状況に応じた看護方法の理解③	地域における包括支援が求められる複雑事例の紹介とガイドラインを活用した分析（ディスカッション）をとおして、周産期にある母子とその家族の緊急事態への対応の実際を学び、看護管理者の役割と危機状況に応じた的確な看護方法を理解する。	森 實	対面 (演習)
13回	看護管理者の活動からみた母性看護専門看護師の役割の理解と明確化①	看護管理者の活動からみた周産期母子援助場面での倫理的問題の判断やその解決の方路について検討し、母性看護専門看護師が看護実践・倫理的調整において果たすべき役割について理解を深める。	大 平	対面 (演習)
14回	看護管理者の活動からみた母性看護専門看護師の役割の理解と明確化②	看護管理者としての体験事例をもとに、周産期母子援助場面での倫理的問題の判断やその解決の方路について検討し、母性看護専門看護師が看護実践・倫理的調整において果たすべき役割について理解を深める。	森 實	対面 (演習)
15回	まとめ	プライマリーケアおよびクリティカルケアの観点から、周産期母子援助場面で求められる母性看護専門看護師の果たすべき役割と今後の展望について焦点化する。	大 平	対面 (演習)